

(臨床研究に関するお知らせ)

大腿骨近位部骨折を受傷し、当院にて入院・手術・リハビリテーション歴のある患者さんおよびご家族の方へ

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会で承認され、院長の研究実施許可を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

大腿骨近位部骨折患者における GLIM 基準を用いた術前栄養状態と退院時歩行獲得との関連－後ろ向き観察研究－

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 出口 寛菜

3. 研究の目的と意義

大腿骨近位部骨折は高齢者にとって要介護状態の主要因となりえ、術後早期から歩行獲得や ADL 維持・向上に向けたリハビリテーションは重要である再獲得には身体機能や認知機能、栄養状態など多種多様な因子が関連していると報告がある。令和 6 年度診療報酬改定で回復期病棟における栄養評価に GLIM 基準を使用することが要件となるなど、GLIM 基準の普及が進んでいる。回復期病棟に入院した高齢骨折患者において GLIM 基準で低栄養と診断された患者は FIM 運動項目に負の影響を及ぼす可能性が示唆されている。しかし、急性期病棟に入院した大腿骨近位部骨折術後患者における GLIM 基準を用いた歩行再獲得との関連についての研究は乏しい。したがって、本研究は GLIM 基準を用いた術前栄養状態と退院時歩行獲得との関連を調査することを目的とする。この関連性が明らかになれば術後動作能力改善に難渋する症例を予測し、他職種連携により早期より栄養管理・運動負荷量の設定を行い、機能回復を促進できる可能性がある。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2024年6月1日から2025年5月31日までの期間中に大腿骨近位部骨折（大腿骨頸部骨折・大腿骨近位部骨折）を受傷し当院で入院・手術・リハビリテーションを受けた65歳以上の患者さん

(2) 研究期間

院長による研究実施許可日～2026年12月31日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

当院の研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、診断名、手術方式、術後合併症の有無、年齢、性別、BMI、既往歴、受傷前歩行能力、退院時歩行能力、FIM、手術待機日数、術前栄養状態（MNA-SF、GLIM 基準）、下腿周径、術後歩行開始日、転帰先、在院日数に関する情報です。

(5) 方法

電子カルテより情報を収集し、解析を行います。

5. 試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんおよびご家族（代理人）の方には、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 試料・情報の二次利用について

二次利用しません

9. 資金源及び利益相反等について

資金源及び開示すべき利益相反はありません。

10. 問い合わせ先

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科

担当者：出口 寛菜

住所：大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

TEL：072-681-3801 FAX：072-682-3834

E-mail：deguchi.hirona@aijinkai-group.com